

PR

タイヤでは障害物を登れないので、キャタピラにしました。しかし、キャタピラにただけでは障害物を上手く超えることができず、タイヤの数を減らしたり位置を変えたり、キャタピラを長くしたり、こけずに登れるように考えました。

要救助者を落とさず運ぶために、クレーンで吊り上げるようにしました。要救助者をしっかりつかめるようにペットボトルのサイズに合わせて、箱を作り箱の重さではめこむようにしました。そして、要救助者をゴールまで運ぶために、前後のバランスを考えました。下りでバランスを崩さないように、クレーンの先をつっかえ棒のようにして進みます。

クレーンの巻き上げのひもが絡まり、何度か紐の太さを変えたりしました。

以上です。